

イエスのことば

聖書フォーラム みやま集会
2021年4月24日

出典：“The Life of The Messiah vol.2” Arnold G. Fruchtenbaum, TH.M.,PH.D.

2021/2/13

1

イエスのことば（第13回） P.1

「深みに漕ぎ出し、網を下ろして魚を捕りなさい」（ルカ5：4）

- ペテロたちに、自然界に対するメシアの権威を示したときのイエスのことば
- これが契機となって、ペテロたちはパートタイムの弟子から、フルタイムの弟子になった

2021/2/13

2

イエスの公生涯の起承転結 P.1

起：受洗から、**メシア宣言**を経て、宣教開始まで

承：**メシアとしての権威を現わす**も、

指導者層の拒否を受ける

転：**弟子訓練**

結：エルサレム入城から**十字架**、復活、昇天

2021/2/13

3

文脈の確認 P.1

1. メシアとしての権威を現わす時期
2. これまでに3つの権威を見た
 1. 病の癒しに関して
 2. 教えに関して
 3. 悪霊に対して
3. 今回は、病気に対する権威、そして自然界に対するメシアの権威

2021/2/13

4

本日のアウトライン P.1

聖書箇所 ルカ4：38～5：11

- A) 病気に対するメシアの権威（4：38～41）
- B) 第2回宣教旅行（4：42～44）
- C) 自然界に対するメシアの権威（5：1～11）

2021/2/13

5

A-1) 会堂を出て、シモンの家に P.1

ルカ4：38

- ① カペナウムの町の会堂
- ② 安息日の集会で、悪霊の追い出し
- ③ 安息日の昼食は、特別な食事会
- ④ イエスはシモン・ペテロの家の食事会へ
ペテロの義母が病床上に（慢性的・持病的）

2021/2/13

6

A-2) シモンの義母の癒し P.2

ルカ4:39a

- ① マタイ8:15 手にさわった
- ② マルコ1:31 手を取って起こされた
- ③ ルカ4:39 枕元に立って熱を吐りつけた
- ④ 結果は3福音書とも「熱が引いた」=当時の理解では、神の力によったことの証し

2021/2/13

7

A-3) シモンの義母の癒し P.2

ルカ4:39b

彼女はすぐに立ち上がって彼らをもてなし始めた

- ① 慢性的あるいは持病的な病から癒され、心身に活気が戻った
- ② マタイ8:15 彼女は起きてイエスをもてなした

2021/2/13

8

A-4) 日没後の出来事 P.2

ルカ4:40

- 日が沈むと=安息日が終わり、新しい日が始まる
- 当時のラビたちの教え・・・安息日には、命に別状ないかぎり、治療行為をしてはならない
- 手を置いて・・・治療行為とみられる

2021/2/13

9

A-5) 日没後の出来事 P.2

ルカ4:41

- 悪霊の追い出し
- マタイ8:16 「ことばをもって」
- 直訳「一言で」、おそらく「出て行け」の一語、これだけで悪霊を追い出したということ

2021/2/13

10

B-1) 第2回宣教旅行 P.2

ルカ4:42

- ① 朝になって・・・病の癒しや悪霊の追い出しをした夜が明けて
 - ② 寂しいところに・・・祈るために
 - ③ 群衆はイエスを捜し回って
- イエスをカペナウムの町に引き止めようとした

2021/2/13

11

B-2) 第2回宣教旅行 P.2

ルカ4:43

ほかの町々にも、神の国の福音を宣べ伝えなければなりません。

- ① 神の国=メシアが王となって立つ国
- ② 神の国の福音=イエスとそのメシアであるユダヤ人たちがイエスをメシアとして信じるなら、その世代のユダヤ人のときに、神の国が立つ

2021/2/13

12

B-3) 第2回宣教旅行 P.3

ルカ4：44 ユダヤの諸会堂で、宣教を続けられた。

- ① マルコ1：39「ガリラヤ全域にわたって、彼らの会堂で宣べ伝え、悪霊を追い出しておられた」
- ② マタイ4：23
 - ガリラヤの全域を巡って会堂で教えた
 - 御国の福音を宣べ伝えた
 - あらゆる病気、あらゆるわずらいを癒やした

2021/2/13

13

B-3) 第2回宣教旅行 P.3

③ 第2回宣教旅行の結果（マタイ4：24～25）

- イエスの評判はシリア全域に広まった
- 様々な病人が連れて来られ、イエスは彼らを癒やした
- 大勢の群衆が、ガリラヤ、デカポリス、エルサレム、ユダヤ、およびヨルダンの川向こうから来て、イエスに従った

2021/2/13

14

C-1) 自然界に対するメシアの権威 P.3

ルカ5：1～11

この箇所为中心的な出来事

- ① ペテロ、アンデレ、ヨハネに再召命
- ② イエスの最初の弟子5人。パートタイムの弟子からフルタイムの弟子へ
- ③ ヤコブが加わって6人に

2021/2/13

15

C-2) 事の発端 P.3

ルカ5：1～3

- ① イエスはゲネサレ湖の岸辺に。群衆がイエスに押し迫って来た
- ② 岸辺に小舟が2艘。漁師たちは網を洗っていた
- ③ イエスはペテロの舟に乗り、陸から少し漕ぎ出すように頼んだ
- ④ イエスは舟に腰を下ろし、群衆に教え始めた

2021/2/13

16

C-3) ゲネサレ湖 漁業の中心地 P.4

ガリラヤ湖（マルコ1：16） 淡水湖

- ① ユダヤ人の漁業の中心地
- ② 獲った魚は、塩漬け・干して、交易品に
- ③ カペナウムの町の漁師たちは、イスラエルの活気ある水産業の担い手

2021/2/13

17

C-4) 漁師たちは網を洗っていた P.4

3層の刺し網

- ① 昼間に網を下ろすと、魚には網が見えて、逃げられる
- ② 昼間は水面の温度が上がり、魚は深く潜る。網は届かない
- ③ よって、漁は夜間
- ④ 漁のあとは、網を洗い、繕う仕事

2021/2/13

18

C-5) この日、ペテロたちは P.4

マルコ1:16

- ① 夜明け頃、イエスは岸辺を歩いていた。おそらく、ひとりで寂しいところへ行って祈った
- ② 湖面を見ると、ペテロとアンデレが舟に乗り、まだ漁をしている。明け方まで働くとは、夜間に魚が獲れなかったのであろう・・・

2021/2/13

19

C-6) 群衆が集まって来た P.4～5

ルカ5:1～3

- ① 第2回宣教旅行のあとで、イエスの評判は大いに広まっていた。大勢の人が集まり、イエスから神のことばを聞こうとした。時刻はおそらく朝の7時頃
- ② ラビが早朝に講話するのは普通のこと
- ③ このとき、ペテロは舟を岸に戻し、網を洗い始めていた。イエスは舟に乗せてもらい、少し漕ぎ出させた
- ④ 舟に座り・・・ラビは教えるときは座って

2021/2/13

20

C-7) 弟子たちの再召命 P.5

① 4～5節 イエスの指示とシモンの応答

深みに漕ぎ出し、網を下ろして魚を捕りなさい

・・・プロの漁師にとっては経験に反する指示

先生。私たちは夜通し働きましたが、何一つ取れませんでした・・・言外に反対の思い

でも、おことばですので、網を下ろしてみましよう

反対の思いを置いてシモンはイエスの指示に従った

2021/2/13

21

C-7) 弟子たちの再召命 P.5

② 6～7節 予想外の大漁

- 舟を深みに漕ぎ出し、網を下ろしてみると、おびただしい数の魚が入り、網が破れそうになった
- 岸にいた仲間に合図して、助けに来てもらった
- 魚を二艘の舟に引き上げると、両方とも沈み始めた

2021/2/13

22

C-7) 弟子たちの再召命 P.5～6

③ 8～10節a ペテロたちの驚きと反応

- これまでに経験したことのない大漁
- メシアの自然界に対する権威を認識
- 「主よ。私から離れてください。私は罪深い人間ですから」

2021/2/13

23

C-7) 弟子たちの再召命 P.6

④ 10b～11節 弟子たちの再召命

- しかし、イエスは彼らから離れなかった
- 逆に、彼ら自身を今の仕事から離れさせ、イエスの従うように命じる
- フル・タイムの弟子となるように、との召命
「恐れることはない。今から後、あなたは人間を捕るようになるのです」

2021/2/13

24

C-7) 弟子たちの再召命 P.6

• マタイ4:19

「わたしについて来なさい。人間を捕る漁師に
してあげよう」

• イエスについて行くとは・・・

フル・タイムの弟子となるという献身の表明
物質的の必要はイエスから受けるという信頼

2021/2/13

25

C-7) 弟子たちの再召命 P.6

マルコ1:19~20

- 別の舟にいたヤコブとヨハネも、イエスの召命を受けた。
- 彼らもまた、父ゼベダイを雇い人たちとともに舟に残して、イエスの後について行った。

2021/2/13

26